



あおせん
乗って残そう未来の栗生線

神戸電鉄栗生線活性化協議会

栗生線活性化セミナー「一緒に考えよう！栗生線とまちの将来」を開催します。

神戸電鉄栗生線活性化協議会（会長：三木市副市長 北井信一郎、以下「協議会」）では、沿線にお住まいの皆さまに、栗生線の維持・存続に向けた取り組みへの理解を深めて頂こうと、表記のセミナーを開催いたします。

栗生線が存続するためには、神戸電鉄の自助努力や行政の支援に加え、地域にお住まいの方が存続に向けて主体的な行動を起こしていくことが重要です。多くの方にご参加頂き、そのきっかけとして頂ければ幸いです。

■開催概要等

【名 称】 栗生線活性化セミナー「一緒に考えよう！栗生線とまちの将来」

【内 容】 「栗生線の歩みとまちにおける役割」「栗生線問題の本質」「暮らしへの影響」「他の地域における取り組み」「神戸電鉄、行政、地域住民の取り組むべき事柄や栗生線のあり方」等をテーマに、沿線各地で全 11 回の開催を予定しております。

各回とも、上記のテーマについてひとつお説明した上で、その中からテーマを絞り、さらに掘り下げたご説明と意見交換をさせて頂く予定です。

【参加方法】 予めお申し込みが必要です。

【申込窓口】 神鉄コミュニケーションズ内「栗生線活性化セミナー係」
TEL 078-521-0321（受付 平日 10:00～17:00）

※ 詳細は、別紙をご参照ください。

お問い合わせ先	三木市	まちづくり部美しいまちづくり課	(0794) 82-2000
	神戸市	住宅都市局計画部計画課	(078) 322-6885
	小野市	総合政策部交通政策グループ	(0794) 63-1000
	兵庫県	県土整備部県土企画局交通政策課	(078) 341-7711
	神戸電鉄株式会社	鉄道事業本部企画部	(078) 592-2221

粟生線活性化セミナー「一緒に考えよう！粟生線とまちの将来」

このセミナーは、神戸電鉄粟生線の維持・存続に向けた取り組みへの理解を深めて頂こうと、神戸電鉄粟生線活性化協議会が主催するものです。全11回の開催となりますが、各回ともに粟生線の現況についてひととおりご説明した上で、ご説明したものの中からテーマを絞って、さらに掘り下げたご説明と意見交換をさせていただく予定です。是非、皆さまお誘いあわせの上、ご参加をいただき、粟生線問題への理解を深めていただければ幸いです。

NO	開催日	時刻	場所	テーマ
I	① 6月21日(土)	10:00～11:30	三木市中央公民館 大ホール(定員100名)	粟生線の歩みとまちにおける役割 神戸電鉄の創業者、山脇延吉氏は北摂・東播地方の地域振興を願い、私財を投げ打って神戸から三田・三木へと至る鉄道を建設しました。当時の沿線には、現在ほど多くの人は住んでおらず、農産物や小荷物などの輸送も行われていました。その後、高度経済成長に伴って神戸都市圏が拡大したため、多くの人が沿線に移り住むようになり、粟生線もまちもその姿を変えてきました。このセミナーでは、粟生線とまちの歴史を振り返り、まちにおける粟生線の役割について考えます。
	② 6月21日(土)	15:00～16:30	兵庫公会堂(兵庫区役所) 第2・3集会場(地下1階) (定員80名)	
II	① 7月12日(土)	10:00～11:30	三木市中央公民館 大ホール(定員100名)	粟生線問題の本質 粟生線は、ピークと比べて輸送人員が半分以下になっておりますが、それでもなお、年間で約670万人と多くの方に利用されています。また、粟生線の赤字は10億円を超える水準ですが、神戸電鉄は黒字決算をしています。それなのに何故、存廃問題が取りざたされ、行政が神戸電鉄を支援しているのでしょうか？このセミナーでは、「鉄道とは何か、他の事業と何が違うのか」「なぜ支援が必要なのか」など粟生線問題の本質について考えます。
	② 7月12日(土)	14:30～16:00	小野市伝統産業会館 2階会議室 (定員80名)	
III	① 8月16日(土)	10:00～11:30	三木市中央公民館 大ホール(定員100名)	知っておきたい暮らしへの影響 粟生線がなくなると、利用していない人も含めて、私たちの暮らしにさまざまな影響がでます。一例をあげると、道路にマイカーやバスがあふれて渋滞が増えるほか、土地や建物など不動産価格も値下がります。また、行政は粟生線に代わるバス等の確保や道路整備のために多額の税金を支出せざるを得ませんし、バス等では鉄道が担ってきた輸送量を賄いきれない恐れもあります。このセミナーでは、こういった暮らしへの影響を通じて粟生線の価値について考えます。
	② 8月16日(土)	14:00～15:30	兵庫公会堂(兵庫区役所) 大集会場(地下1階) (定員100名)	
IV	① 9月20日(土)	10:00～11:30	三木市中央公民館 大ホール(定員100名)	地域の移動手段を守るために(各地の取り組み) 鉄道の存廃問題は、何も粟生線に限ったものではありません。日本全国で起こっている問題であり、事業者や行政、そして地域住民が一体となって、知恵を出し合い、支え合うことで再生を果たしている事例も多く存在します。このセミナーでは、再生を果たした他の地域の取り組みに触れるとともに、国の支援制度等をご紹介します。粟生線の維持・存続に向けた方策について考えます。
	② 9月20日(土)	15:30～17:00	コミセンおの コミュニティホール (定員100名)	
V	① 10月18日(土)	10:00～11:30	三木市総合保健福祉センター 研修室(定員70名)	粟生線の維持・存続に向けて 粟生線の維持・存続に向けては、神戸電鉄や行政、そして地域住民が一体となって、知恵を出し合い、支え合うことが重要です。このセミナーでは、神戸電鉄、行政、地域住民それぞれが取り組むべき事柄や、これからの粟生線のあり方等について考えます。
	② 10月18日(土)	15:00～16:30	勤労会館(三宮) 多目的ホール (定員100名)	
	③ 11月8日(土)	10:30～12:00	コミセンおの コミュニティホール (定員100名)	

※ いずれかのセミナーに1回でもご参加いただければ、全ての資料を差し上げます。

※ 各回ごとに予めお申し込みが必要です。

《申込窓口》 神鉄コミュニケーションズ TEL. 078-521-0321 (受付 平日10:00～17:00)